

令和7年度

関係人口創出・拡大のための対流促進事業
(中間支援組織の提案型モデル事業)

事業の実施結果
(概要)

団体名	エール株式会社 (パラレルキャリア推進委員会®)
事業名	女性複業人財と地域共創による関係人口を創出する事業 “エールプロジェクト”

1. 事業の全体像

事業全体としてのポイント

全国の女性複業人財ネットワークとプラットフォームを活用し、都市人財と地域女性の共創によって関係人口を創出する地域共創モデルを構築

(1)事業の概要

- 女性の流出や担い手不足といった課題を抱える滋賀県高島市において、県外の女性人財が関係人口として参画し、取組を実施。
- 複業マッチング、交流イベント、リトリート、オンラインコミュニティなどを通じて県外の女性と県内女性をつなぐ仕組みを構築。
- 取組の結果、高島市において、県外の女性人財と地域女性が協働する「女性複業人財による地域共創型の関係人口モデル」を構築。

(2)モデル事業の達成度（KPI・定量評価）

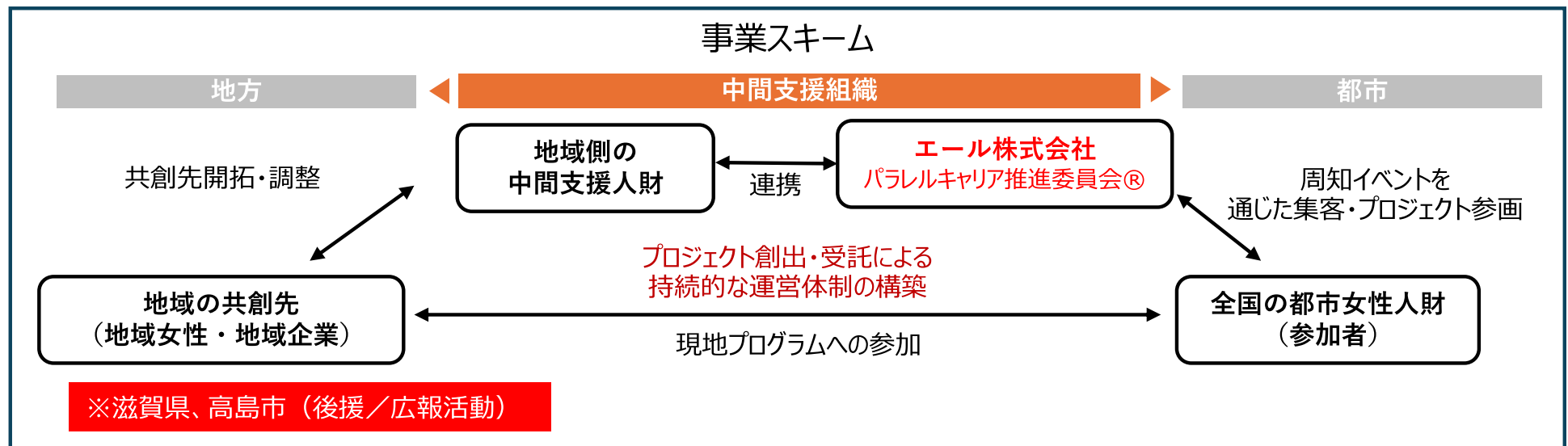
指標名	目標値	実績値
地域連携のプロジェクト創出数	3件	5件
地元女性との交流機会数	3回	4回
オンラインコミュニティ参加者数	50名	56名

- 交流を通じて地域女性の意識変容や新たな挑戦のきっかけづくりにつながった。

(3)関係人口がもたらす地域への好影響等について

地域への好影響等に関する指標	目標値	実績値
関係人口化した女性複業人財数	10名	18名
地域女性による新たな挑戦・キャリア形成の創出人数	10名	37名

- 継続関与の意向を持つ人財が一定数確認され、関係人口の形成につながった。



2. 取組の内容

(1)女性キャリア地域交流イベントの実施

概要

- 高島市において、地域女性と都市部女性複業人財の交流イベントを開催した。
- 地域での働き方やキャリアの可能性について、都市部女性との対話や意見交換を行った。

成果

- 参加者合計：132名
- 地域女性と都市部女性の交流機会を創出し、新たな働き方や挑戦に関する関心が高まった。
- イベント後もオンラインコミュニティで交流が継続する参加者が見られた。

地域への波及効果

- 参加者（都市部女性）からは、地域の暮らしや人とのつながりに魅力を感じ、今後も関わりたいという声が聞かれた。
- 地域女性からは、県外女性との交流を通じて新しい視点や刺激を得ることができたという意見があった。

得られた気づきや知見

- 都市部の参加者と地域女性双方にとって意義のある事業とするためには、単発ではなく継続的な交流の機会を設けることが重要である。
- オンライン参加者の満足度を高めるためには、事前の情報共有や交流時間の確保など運営面での工夫が必要である。



第1回キャリアイベント（写真の説明）



第2回キャリアイベント（写真の説明）



第3回キャリアイベント（写真の説明）



第4回キャリアイベント（写真の説明）

(2)地域共創プロジェクトの実施

概要

- 地域企業と連携し、都市部の女性複業人財と地域女性によるプロジェクト型の業務連携（複業）を実施した。

成果

- 参加者 10人
- 地域企業と女性複業人財のマッチングにより、複数のプロジェクト（複業）が創出につながった。
- 地域女性もプロジェクトに関わることで、新たな役割や活動機会の創出につながった。

地域への波及効果

- 参加者（都市部女性）からは、自身のスキルや経験を地域の仕事やプロジェクトに活かす機会を得ることができ、継続的に地域と関わる意欲が高まったという声があった。

得られた気づきや知見

- 企業側には人財不足などの課題がある一方で、業務の切り出しや外部委託の経験が少ないことから、複業マッチングの前段階として業務整理や課題の可視化を支援することの重要性が確認された。
- 地域企業の信頼関係の構築には一定の時間を要するため、地域側のコーディネーターの役割がとても重要であることがわかった。

3. モデル事業の今後の展開について

(1)次年度以降の事業展開、自立自走・横展開に向けた取組の方向性

- 今年度事業の成果を踏まえ、次年度は、都市部の女性複業人財と地域をつなぐ「地域共創型関係人口モデル」の持続的な運営体制の構築と、他地域への横展開を見据えた仕組み化を進める。具体的には、外部人財を積極的に活用できる体制を整備するとともに、他企業等との共創を図る。
- オンラインコミュニティやイベント等を通じ、地域と都市部人財が継続的につながる交流機会を定期的に創出する。
- 地域課題をテーマとしたプロジェクト型の参画機会を増やし、複業人財が継続的に関われる仕組みを整備する。

R8年度	・地域企業へのプロジェクト提案、案件発掘・女性複業人財と地域企業のマッチング開始・キャリア交流イベント・座談会の継続開催・オンラインコミュニティの運営継続
R9年度	・地域企業とのプロジェクト数拡大・地域コーディネーターによる運営体制強化・地域女性向けキャリア・複業イベントの拡充・他自治体へのモデル紹介・連携検討
R10年度	・地域企業主体のプロジェクト運営への移行・関係人口コミュニティの自走化・他地域への横展開（モデル共有・連携事業）・広域連携プロジェクトの検討

(2)事業運営に向けた収支計画

- 令和10年度までに、地域企業・団体からのプロジェクト費や共催事業費等を主な収入源とする持続可能な事業モデルの確立を目指す。今年度は補助金を活用して地域活性化事業の立ち上げ・仕組み構築を行ったが、次年度以降は地域企業とのプロジェクト型連携や人財マッチングを拡大し、地域側の負担による事業費やプロジェクト料収入を段階的に増やすことで、補助金への依存度をなくしながら自立自走型の運営体制への移行を図る。また、高島市で構築したモデルを他地域へ横展開することで、新たな収益機会の創出と事業の持続性向上を目指す。

区分	R8年度	R9年度	R10年度
地域企業プロジェクト収入	200,000円	400,000円	700,000円
イベント・共催事業収入	100,000円	300,000円	500,000円
収入合計	300,000円	700,000円	1,200,000

(3)モデルの拡大に向けた課題や留意点

- 事業を持続させていく上では、都市部の複業人財の参画だけでなく、地域に暮らす女性が主体的にプロジェクトや活動に関わる環境づくりが重要である。今年度の取組を通じて、外部人財との交流やイベントをきっかけに地域女性の意識変容や新たな挑戦の芽が見られた一方で、地域女性が継続的に参画できる機会や役割の設計をさらに充実させていく必要がある。
- 事業の自立・自走化を図るためには、地域企業や団体による人財活用の理解促進とともに、地域女性自身がプロジェクトの担い手や企画者として関わる仕組みを整備していくことが求められる。都市部人財の知見を活用しながら、地域女性のキャリア形成や新たな働き方の可能性を広げ、地域内での挑戦や活動が生まれる環境づくりを進めることが重要である。
- また、モデルの拡大に向けては、地域女性と都市部女性が共に学び、協働する関係性を継続的に育む仕組みを構築するとともに、高島市での成果や事例を整理・発信することが必要である。地域の状況や課題に応じて柔軟に取組を展開しながら、地域女性の活躍と関係人口創出の両立を図るモデルとして発展させていくことが今後の課題である。